

かさおか

発行所
天理教笠岡大教会

かさおか編集掛
笠岡市用之江377
郵便番号714-0066
(0865)
電話 66-1311
FAX 66-1314



初代の心にかえり信仰の喜びを
深めよう 伝えよう 広げよう
一、持ち場立場で日々理作り
一、家族揃って教会参拝
一、一日一件にをいがけ

立教172年
10月号

立場の自覚と日々の理づくりを

委員部長後継者講習会開催

—婦人会—

笠岡支部婦人会では、9月23日、大教会に於て15名参加のもと委員部長後継者講習会を開催しました。

これは今年5月から9月13日迄、開催された天理教婦人会創立100周年婦人会員決起の集いに参加して後の講習会です。

まず支部長様より「婦人会創設の意義、決起の集いを開催された婦人会本部の思い、また、縁あって嫁いだ先が教会、そして後継者の立場に巡り合わせて頂いたのも親神様のお計いであること、それによって現在おかれている各々の立場の自覚と共に伏せ込み、日々の理づくりの大切さ」を諄々と話されました。

この後、2名の心に残る感話、ねり合いが行われ、昼食後も引き続き○信仰の喜びを伝えるのに苦心していることは○教会での婦人の役割等—について熱心にねり合いました。

館内の清掃ひのきしん後、来年に迎える創立100周年のスローガン「一人の会員が一人の別席者の御守護を頂きましょう」にむかって歩むことを誓い、心ひとつにおつとめをつとめ閉会しました。

第824期修養科募集要項

*修養科期間

立教172年12月1日～立教173年2月27日

*教 養 掛

3ヶ月間	山 野 弘 実	(大教会准役員・上下分教会長)
1ヶ月目	渡 邊 泰 造	(品 治 分教会長)
2ヶ月目	吉 岡 貞 彦	(芦田川分教会長)
3ヶ月目	雑 賀 元 生	(照 雲 分教会長)

*募集要項

- ・志願者は、12月末日現在で満17歳以上で、必要書類を携え、上級教会を経由して大教会に順序参拝すること。
- ・11月25日までに笠岡詰所に入所し、教養掛の面接を受けること。
- ・3ヶ月の修養期間を修了後は、大教会での修養科修了講習会を受講し、3月1日の昼食後に解散。

*教 科 書 (必須)

『おふでさき』、『みかぐらうた』、『天理教教典』、『稿本天理教教祖伝』。

*参 考 書 (出来れば持参)

『おてふり概要』、『なりもの練習譜』(笛・打楽器または三曲)、『おやしき・史跡案内』。

*携 行 品

おつとめの扇、筆記用具、認印、笛(男鳴物の講義で笛と小鼓の内、笛を選択する人のみ)。

*服 装

ハッピー及び帯・バンド、長ズボン(又は、それに類するもの)、靴。

談話室



教会長路傍講演に参加して

稲倉分教会長 北川 治史

九月二十八日から三十日にかけて、全国各地で「全教一斉にをいがけデー」として、にをいがけ活動が展開されました。そして二十八日は「教会長路傍講演の日」とおちばより堤唱され、今年で三年目。私共も、まず教会長が先頭に心勇んでつとめさせて頂こうと、午前九時三十分より恵陽分教会に教会長、よふぼく二十名が集合、参拝の後「天理王命」の旗を先頭に、路傍講演場所である井原駅前に向けて、拍子木の音高らかに響く中、神名流しを行いました。路傍講演では、駅前とはいえ人通りもまばらな中ではありましたが、道行く人々にお道の教理を取り次がせて頂き、順次教会長が路傍講演をする最中、他のよふぼくの方々、近くの家々にリーフレットを持って、にをいがけに廻らせて頂きました。人前で話しをする事は誰でも恥ずかしい事です。ましてや路傍講演は

なおさらです。しかし教会長が率先して立ち上げれば、教会全体が活気づき、おのずとよふぼく、信者の皆さんも動いて下さると思います。「路傍講演」や「神名流し」は最近あまりする事がなくなってまいりましたが、この「教会長路傍講演の日」と三年前に打ち出され、久し振りにマイクを片手に冷や汗を流しながら、地域社会に親神様の御教えを、心勇んで流させて頂いた一日でした。

教会長路傍講演の日に参加して

真府分教会長 高田 一弘

今年四月に教会長のお許しを戴き、教会長としては初めての教会長路傍講演の日となりました。教会長として書きましたのは、昨年も会長代理として参加させて頂きましたので。

広島教区東部支部では、府中市分教会に集合した後、まずはスタート地点の福廣分教会へ移動し、再び府中市分教会に戻るというルートで、路傍講演並びに神名流しをさせて頂きました。

このルートは自分の地元を歩く事になります。地元をしっかりと歩いて通れと言われているのだと感じました。

その道中、自教会横の駐車場で路傍講演をさせて頂きましたが、元々人通りの少ない所でもあり、参加者以外で聞いて頂いている人はいないんじゃないかと思うような寂しい状況でしたが、この光景を親神様、教祖が見て下さっていると思い、また、目には見えないが、近所の家々の人には声は届いているはずだと思いながら、やらせて頂きました。

そして、前会長が若い頃に毎日のように路傍講演に行っていた事、その時にも、まともに聞いて頂ける人は殆んどいなかった事を、聞かせて頂いたの思い出させてくれました。

そんな前会長の通ってきた道を少しでも歩ませて頂けたのかなと思っておりますが、やはり、まだまだ自分は未熟だと思えます。

教会長一年目、前会長の出直という大きなふしを見せて頂き、ふしから芽が出るの言葉胸に、大教会創立百二十周年に、教祖百三十年祭に向けて、自分が先頭に立って、教会に繋がる人々と共に成人させて頂きたいと思っております。

その為にも、にをいがけ、おたすけに、しっかりと歩かせて頂こうと思えます。

自分には、色々な事を思い出させて貰え、新たな決意を胸にする教会長路傍講演の日となりました。

出雲の国の歌姫！



～ 前真柱様の前で「ソロ」熱唱 ～

ア～メェ～ジイ～ソググレェ～イス…ソプラノで朗々と歌う若槻良子さん(出雲分・用木)は島根教区中部支部(石橋泰支部長)コールメリー混声合唱団のメインボーカルで注目の人なのです。

良子さんは、男女3人の母、「主人や家族が格別の理解が無かったら…とてもできません、感謝しております」と、近隣の事務所へ午前中勤め「教会日参」を欠かすことは無く「真実の道」を真っ直ぐに通る、五十路の坂道を登る歌姫…

立教167年5月1日、前真柱様お入込み戴いての「一手ひとつ成人の集い」支部決起大会の時、お迎えの歌を支部が作詞・作曲して披露したコールメリー。以後の活動は養護老人ホーム・地域の催事・音楽会等で意欲的に歌っています。また、毎年6月の第1日曜日に天理市民会館での「うたう一手ひとつ」に参加をしておられます。写真は、その時の御招宴会でのスナップ、前真柱様の前で「ソロ」で熱唱する良子さんに喝采を戴いたのは言うまでもありません。



良子さん(左)

前真柱様と石橋支部長は「やろう会」時代からのお付き合いで、音楽家としての前真柱様からコールメリーに賞賛を戴いている。先ごろ出雲市大社町の養護老人ホーム「いなさ園」納涼大会でも披露した。ここは、地区の教会が十数年来「一斉ひのきしん」現場でお付き合いが有り、多くの出演者の中でも一段と輝いてステージに咲いた歌姫！

良子さんは子供の頃から歌が上手で、姉兄達も美声の持ち主だが、飛び出た歌



唱力の良子さんは、おぢばがえり団体バスの車中で何曲も歌ってサービスしてくれています。また地元の大東町合唱団「ミューズエコー」にも所属していて、週1回の練習はパート別の発声、合奏にと余念がありません。それは文化祭や余芸大会、チャリティコンサートなど多岐にわたり活躍されていて、大東町よいとこネット、ケーブルテレビではもう…お馴染みの良子さんです。

以前、島根分教会の110周年記念祭で出雲分コーラスを結成して、その美声を笠岡大教会長夫妻にも披露されています。

今の良子さんは「ミューズエコーを通じてメンバーの人達に、にをいがけを、また聞いて下さる皆さんに、私の歌で楽しんで下されば…そんな気持ちが伝わって陽気な気持ちになって頂きたいのです」と、謙虚な気持ちを笑顔でこたえてくれました。次は、笠岡大教会120周年のお祝いにはぜひとも参加したいとの抱負を聞いておりますので、皆さんに遠からず披露目致しましょう。

立教172年

平成21年11月22日(日)

笠岡大教会

午前8時30分受付開始

青年会笠岡分会総会

おつとめまなび

式典

記念講演

講師 金山 雄大先生
〈淀分教会長、元青年会本部副委員長〉

前へ! 前へ!

TENRIKYO
SEINENKAI
KASAOKABUNKAI
<http://kasaokabunkai.blog.shinobi.jp/>



10月27日(火)の本部青年会総会に引き続いて、
青年会笠岡分会の一層の発展を期し、
笠岡分会総会を開催します。

【日 時】 9時30分 おつとめまなび、14時30分 解散予定
【会 場】 笠岡大教会
【対 象】 青年会員

◆平成21年度 H A R P 研修会

- 【期 間】 立教172年11月27日 午前9時 集 合
11月29日 午前11時30分 解 散
- 【会 場】 本部第12母屋、本部第8・9母屋
- 【対 象】 これまでにHARP経験のない方、浅い方。学生層育成についての意識を高めたい方。
- 【内 容】 HARP体験コース(エクササイズと講義、ふりかえりを通じて、育成者としての意識・心構えを培っていく)。
- 【定 員】 50人。
- 【受 講 費】 4,000円。
- 【携 行 品】 ハッピー、保険証、その他合宿に必要なもの。
女性の方は、ズボン着用でご集合ください。
- 【申し込み】 本部学生担当委員会の締め切りが、11月12日(木)(受講費を添えて)ですので、
10月25日までに、学担・吉岡までご連絡ください。

九月月次祭祭文

これの笠岡大教会の神床にお鎮まり下さいます

親神天理王命の御前に 会長上原理一 慎んで申し上げます

親神様には子供かわいい一条の親心から只管に天然自然のお働きと自由の御守護を賜り又旬に応じ 時にはやさしく時には厳しくお仕込み下さり陽氣ぐらしへと向かう成人の歩みへとお導き下さっております 中でも今は実りの秋食欲の秋を迎えさせて頂き 昼夜共過ごしやすく なにより食卓が賑わっております事は誠に有難く勿体ない極みでございます

私共は親の思いに応えるべく日々は喜び感謝の心一筋に朝夕御礼申し上げつつにをいがけ強調月との思いも込め たすけ一条の御用の上に勤め励ませて頂いております

分けても今日の吉日は九月の月次祭を執り行う日柄でございますので 只今からおつとめ奉仕人一同 喜び心も一入に明るく陽氣に勇んで坐りづとめてをどりをつとめさせて頂きます 御前には同じ喜びに満ち溢れ 今日の日を楽しみに寄り集いました道の子供達が 相共にお歌を唱和し 旬を仕切り言改めて御礼申し上げる状を御覧下さいまして 親神様にもお勇み下さいますようお願い申し上げます

さて世上では今大きく変革の風が吹き荒れ 政権交替も実現しました しかし単なる変化に留めず より良い変革にする為にはバブルの時代に失ってしまった「感謝・慎み・助けあい」の心を一人ひとりが取り戻さなければなりません 日頃はたすけ一条の御用を通して その事を伝えさせて頂いておりますが 月末には全教一斉にをいがけデーを通して 一人の力を合力に変えさせて頂いて より多くの人々にをいがけをさせて頂く所存でございます

又、今年もあと三ヶ月となりました この旬に改めて年頭の心定めに思いを至し 完遂を目指すべく来月は直轄教会へ大祭参拝をさせて頂き その徹底を計る所存でございます 加えて又 来月二十五、二十六日と本部の秋の大祭にあわせ別席ひのきしん団参をさせて頂きます 一千人以上の帰参と別席者増員を目指し より勇んでつとめさせて頂く所存でございます

何卒 親神様には時代の荒波に揉まれながらも決して体制に流されず 常に親孝心一筋に成人の道を歩む皆の誠真実の心をお受け取り下さいます 万たすけの上に親心いっばいの御守護を賜り より多くの人が親心に気付き 一列兄弟の理に目覚めて よろづ互いに助け合う陽氣ぐらしの世の状に一日も早くお導きの程を 一同と共に慎んでお願い申し上げます

秋季霊祭祭文

これの笠岡大教会の祖霊殿にお鎮まり下さいます

本席様の御霊 初代真柱様並びに奥様の御霊 二代真柱様の御霊 大教会創設の祖 上原佐吉大人八重刀自の御霊 初代会長上原さと刀自の御霊 二代會長上原伊助大人光刀自の御霊 三代会長上原繁雄大人くに多刀自の御霊 四代会長上原郁雄大人の御霊 大教会の道の草創の頃より共にご苦労下さいました役員 部内教会長 よふぼく信者の御霊 諸々の御霊の前に 会長上原理一慎んで申し上げます

祖霊様方には親神様教祖より夫々のいんねんを見定められ 身上事情を通して早くからこの道に引き寄せられました 以来我身我家のいんねん自覚の元 御恩報じ一筋にたすけ一条の真実を伏せ込まれやがて一粒万倍の御守護となり 今日のお道の結構な姿をお見せ頂いております もちろん親神様教祖の御守護お導きの賜である事は申すまでもありませんが 又一つには祖霊様方の理作りのお陰と 日々は朝に夕に御礼申し上げつつ教祖ひながたの万分の一でも通らせて頂きたいと たすけ一条の御用の上に勤め励ませて頂いております 分けても本日は秋の霊祭を執り行う日柄でございますので 只今は親神様の御前にておつとめ奉仕人並びに部内教会長代表 陽気にてをどりをとめさせて頂きました 又御前には今日の日に寄り集い海山川野の旬の物を供えて額づき在りし日の面影を偲び 御遺徳を称え 言改めて御礼申し上げる状を御覧下さいまして御心穏やかにお治め下さいますようお願い申し上げます

さて大教会創立百二十周年に向かう三年千日の歩み出しの今年は梅雨明けが八月にずれ込み 雨により各地で被害が相次ぎ 新型インフルエンザが流行し 政権交替する等今日まで大変な年でありました そんな中だからこそ信仰の喜びを深め 伝え 広げる事の大切さをより痛感しますます旬の御用に邁進させて頂く決意を新たにしているところでございます

何卒霊様方には時代の変化に惑わされず 親孝心一筋にたすけ一条の歩みを続ける皆の誠真実の心を御心安らかにお見守り下さいまして 創立百二十周年に向かつての成人の歩みがより確かなものになりますように お力添えお導きの程を一同と共に慎んでお願い申し上げます

喫煙禁止のお知らせ

— 詰所から連絡いたします —

十月一日より詰所の室内では
喫煙は出来ません。喫煙される方は灰皿の
設置された所定の廊下ホールをご利用下さい。

※お詫びと訂正

本年9月21日発行の『かさおか 第48巻 第8・9号』「談話室」に掲載いたしました「富士山」の記事において、左記の通り2ヶ所の誤字脱字がありました。

読者の皆さまならびに関係者の皆様にご迷惑をお掛けしましたこととお詫びするとともに、ここに訂正させていただきます。

【誤】・・・フレーズで始まる「富士山」。

(一段目の最初)

【正】・・・フレーズで始まる童謡「富士山」。

【誤】お鉢(火口)は葉をいっぱい溜め込んでいます。(三段目の中頃)

【正】お鉢(火口)は雲をいっぱい溜め込んでいます。

・原・稿・募・集・

内 容

①小随筆 ②教会・布教所の独自の活動の紹介
③俳句・和歌・川柳 ④教会行事開催後の報告記事 等々

字 数

1000字前後(800字~1200字)
題名・所属教会名・氏名を明記して下さい。
俳句等は1句からでも結構です。

寄 稿 先



下記、大教会内『かさおか』編集掛宛ドシドシご寄稿下さい。
郵 便：〒714-0066 岡山県笠岡市用之江377
FAX：0865-66-1314
メール：tenkasa@yahoo.co.jp
尚、原稿はお返し致しませんので、予めご了承下さい。

大教会だより

◎教会長資格検定講習会修了者

前期 立教172年10月14日終講
明石市 杉原善朗
後期 立教172年10月19日終講
府中市 豊田宏哉

◎本部 食堂ひのきしん

自 立教172年10月1日
至 立教172年10月15日
久松 中村京子



「活字人間」

こういう言葉を聞いたことがあるが、私は正に「活字人間」だ。とにかく、「字」を読んでいるか、書いてあるかしていたら心は安定している。パソコンのキーボードで字を打っている時も「安定」している。小学校時代から姉に連れられて貸本

屋へ行き「猿飛佐助」とか「霧隠才藏」等を読んで夢をふくらませていた。そんな講談本ばかりのようだったかなあ。貸本屋さんをしていくの親類もいて母に連れられてそこへ行くのがすごい楽しみだった。タダ(無料)で何冊も見せてくれる。本好きが高じて在庫が増え(五千冊程の文庫、コミック等)平成4年には教会に「ひがしの文庫」と名前を付けて地域に開放し、大勢の老若男女が利用してくれた。平成7年1月17日、阪神大震災起こり、教会は半壊……。残念ながら在庫本を整理することになり少しでも被災者の楽しみになるかと思ひ被災者の仮設住宅を巡り持参した。また残り全冊を兵庫県児童相談所に寄贈する。今も楽しんでくれているなら本好きの私も嬉しいものだ。

老を迎えた今も活字好きは変わらない。出張するときは3、4時間の車中なので文庫本を歩き帰りで2冊持ってゆく。眠る前には日記を書く。読み書きは老いを防ぐよ。……と思ふ。